

輸入元会社 各位

一般社団法人 日本エアゾール協会

地球温暖化ガスの使用抑制の要請について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さからみて、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題であります。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告によれば、地球が温暖化していることに疑う余地がなく、その原因は、人為起源の温室効果ガス濃度の増加だと断定されています。

我が国の温暖化対策として、1997年京都会議で採択されました議定書の目標値を達成すべく政府、民間、産業分野におきまして様々な努力がなされていることは承知のことと拝察致します。

産業界においては1998年に関係事業者団体により策定された自主行動計画に基づく排出の抑制を推進してきました。政府におきましては2002年に策定された「地球温暖化対策推進大綱」の見直しを行い、新たに2005年「京都議定書目標計画」を閣議決定し推進の徹底を図っています。

この推進徹底の流れに沿うため、当業界におきましても2007年度に目標値の深掘りを含む自主行動計画の改訂を行い、排出原単位の抑制や生産時排出量の一層の低減を宣言しております。自主行動計画は毎年フォローアップが実施され、当業界で使用しているHFC-134a及びHFC-152aの温暖化ガスを対象に、排出原単位や生産時排出量そしてその削減状況等の報告が行われております。この席上、放出型で、温暖化係数の高いガスを使用しているエアゾールは、一層厳しい削減を求められているのが現状であります。

このような背景下、既に皆様は削減に尽力されていることは、十分承知しておりますが、更に、地球温暖化に対する社会的責任を考慮の上で、温暖化ガスの使用を削減して行くことの重大性を十分認識していただき、一層の削減努力並びに新製品計画においては温暖化ガスの採用を避けられるようご配慮願いたくお願い申し上げます。

敬具